

平成 27 年度第 1 回
杵島地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 27 年 5 月 26 日
佐賀県教育委員会

目次

		頁
資料 1	新高校設置準備委員会設置要領	1
資料 2	杵島地区新高校設置準備委員会委員構成 (案)	3
資料 3	新高校設置に向けた検討体制	4
資料 4	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第 1 次)(概要版)	5
資料 5	県立高校再編整備計画 (杵島地区)	8
資料 6	杵島地区新高校設置準備委員会検討スケジュール (案)	9
資料 7	めざす学校像	10

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
- 二 新高校の施設・設備に関すること
- 三 新高校への円滑な移行に関すること
- 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

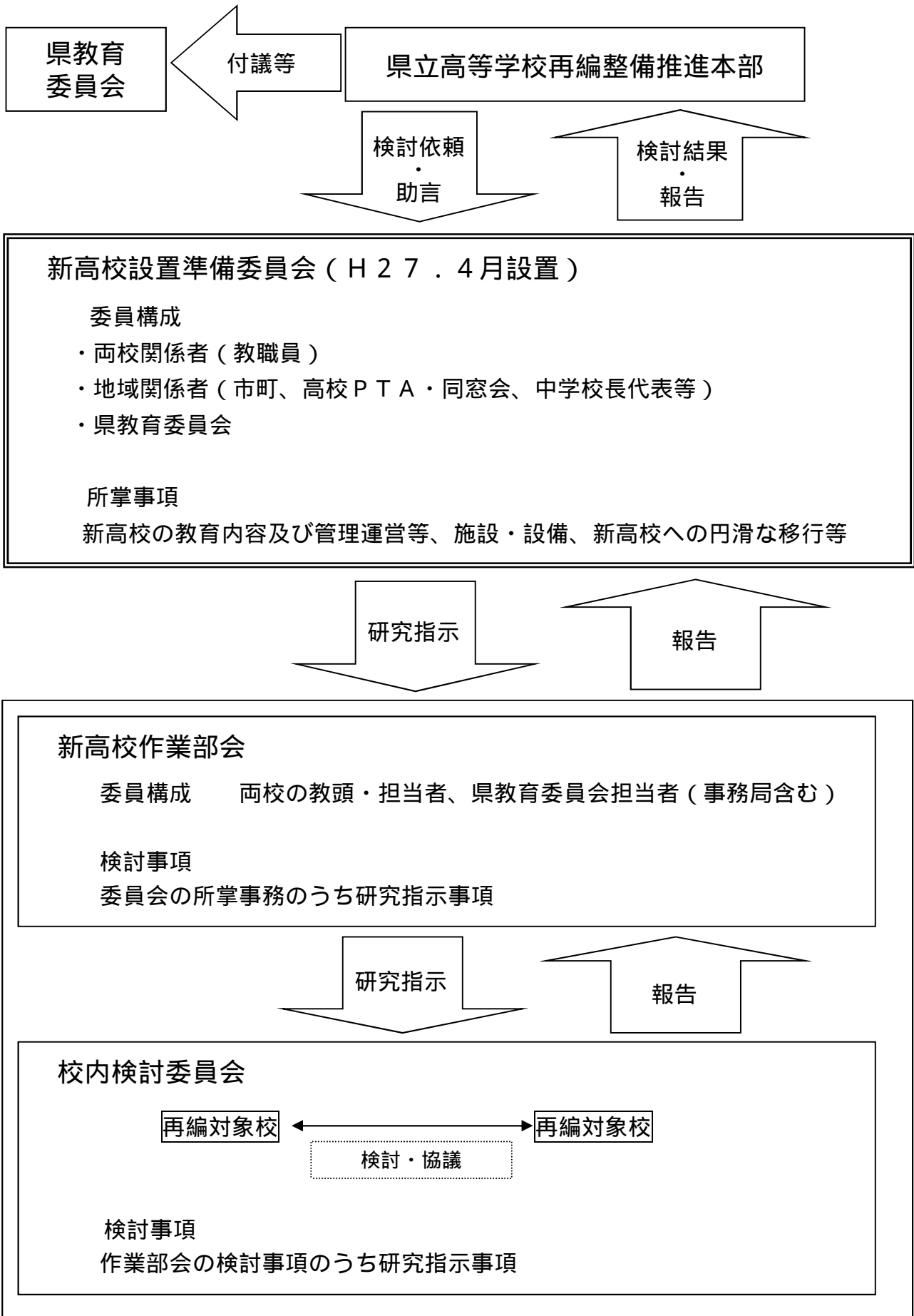
別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料2 杵島地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	白石高等学校学校校長	荒谷 弘幸	委員長・学校関係者	
2	杵島商業高等学校校長	木村 もと	副委員長・学校関係者	
3	白石高等学校教頭	本告 靖之	学校関係者	
4	杵島商業高等学校教頭	北島 直幸		
5	大町町教育長	前川 幸治	大町町	市町関係者
6	大町町生活環境課長	小木 誠		
7	白石町教育長	江口 武好	白石町	
8	白石町副町長	百武 和義		
9	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市	
10	江北町教育長	赤坂 章	江北町	
11	白石高等学校 同窓会代表	川崎 光春	地元関係者	
12	杵島商業高等学校 同窓会代表	黒岩 勝弘		
13	白石高等学校 P T A代表	溝口 哲也		
14	杵島商業高等学校 P T A代表	田中 浩吉		
15	白石町立白石中学校校長	平川 年明	中学校関係者	
16	武雄市立川登中学校校長	植松 和彦		
17	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者	
18	教育政策課長	八谷 幸浩		
19	教職員課長	福地 昌平		
20	学校教育課長	松尾 敏実		
21	保健体育室長	三上 智一		
22	教育支援課長	源五郎丸 靖		
23	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章		
24	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
		本村 邦彦		
事務局	白石高等学校教諭	副島 博孝		
		松浦 昌彦		
	杵島商業高等学校教諭	中村 桂子		
		県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄	
県立高校再編整備推進室 企画主査	椛島 秀樹			

新高校設置に向けた検討体制



資料4 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）
（概要版）

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）（概要版）
（計画期間：平成33年度まで）

佐賀県立高等学校生徒減少期対策審議会答申（H24.8月）
「生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実・発展に資する対策について」

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）」＜たたき台＞
（H25.11月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」（案）
（H26.10月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」
（H26.12月）

新実施計画策定に当たっての基本的な考え

背景

- ・ 新たな生徒減少期
- ・ 社会経済情勢の変化

目標

- ・ 生徒が進路希望を実現できる教育環境の整備
- ・ 高等学校教育の質的充実

方向性

- ・ 長期的・全県の視野に立った高等学校の再編整備の推進
- ・ 高等学校の学科等の整備

新実施計画策定の方針

新実施計画については、次の区分により、策定することとする。

新実施計画 （第1次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、早期に方針を決定し、準備に着手する必要がある県立高等学校の再編整備等
新実施計画 （第2次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、今後更に調査や検証、協議等が必要な県立高等学校の再編整備等

県立高等学校再編整備の基本方針

1 学校規模

1学年160人～320人（4学級～8学級）とする。ただし、1学年120人（3学級）の学校については、柔軟に対応する。

2 再編の対象

次のいずれかに該当する場合は、再編の対象校として検討する。

- ・ 1学年120人（3学級）以下の高等学校で、学校規模に由来する課題により、必要な教育活動を維持することが困難であると見込まれる場合
- ・ 1学年120人（3学級）の高等学校で、定員を維持することが困難となることを見込まれる場合

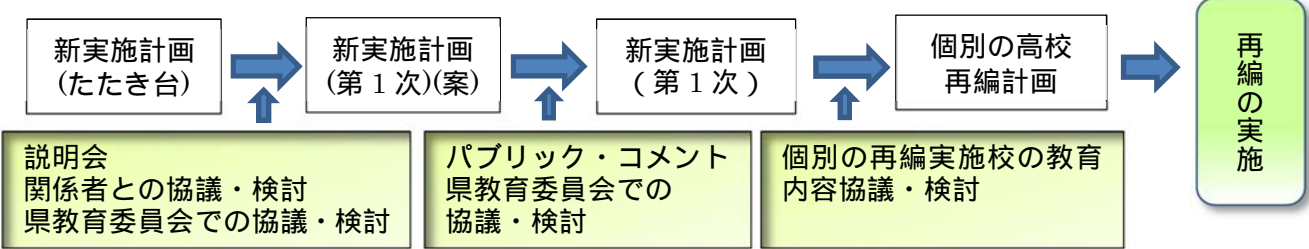
[1学年80人（2学級）の高等学校が存続する場合]

- ア 特色ある教育施策の実施等により、県全体の教育効果を高めることが特に期待される場合
- イ 地理的条件や交通事情により、生徒の教育に重大な支障を来すことが懸念される場合

再編整備の進め方

1 新実施計画（第1次）

新実施計画（第1次）については、個々の再編整備計画をもとに、再編対象ごとに設置準備委員会を設置し、再編実施後の高等学校における教育内容等について検討する。



2 新実施計画（第2次）

平成28年度を目途に策定する。

主な検討事項

- ・ 県全体の農業教育と佐賀農業高等学校の在り方に係る検討
- ・ 神埼地区の高等学校（神埼高等学校・神埼清明高等学校）の学校運営の在り方に係る検討
- ・ 県立高等学校の活性化（グローバル社会への対応、産業技術の高度化への対応（専攻科等の検討））
- ・ 通信制課程の移転及び昼間定時制の導入

具体的な再編整備計画

1 平成14年計画に掲げた再編整備計画

伊万里地区（平成31年度まで）

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校又は校舎制* （校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。）
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

武雄・杵島地区（平成30年度まで）

再編対象校	白石高等学校、杵島商業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

佐賀農業高等学校は、本県の農業科において中心的な役割を担う学校と位置付けることから、現在の学科を維持できるよう、当面、1学年120人（3学級規模）を維持し、単独校とする。

なお、武雄・杵島地区のうち杵島地区については、生徒数の減により、平成32年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

2 新たな再編整備計画

唐津地区（平成30年度まで）

改編対象校	巖木高等学校
新高等学校の場所	現在の校地
募集定員	1学年80人（2学級規模） ・ 学区募集枠 40人 ・ 全県募集枠 40人
学 科	普通科
備 考	全県募集枠については、全日制高等学校で学ぶ意欲と能力のある、不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者を対象とする。

鹿島・藤津地区（平成30年度まで）

再編対象校	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年280人（7学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

再編対象校	塩田工業高等学校、嬉野高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成31年度及び平成32年度に、さらに募集定員を各40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

* 校舎制：再編前の高等学校の校舎をそれぞれ活用し、複数の校舎を持つ1つの高等学校として再編する。

県立高等学校の活性化

1 基本的な考え方

今後の県立高等学校の質的充実を図るための視点

- (1) グローバル社会への対応
- (2) 産業技術の高度化への対応
- (3) 教育機会の更なる拡大

2 学科等整備の基本方向

- (1) 職業教育の中心的な役割を担う高等学校

産業技術の高度化への対応として、職業教育の中心的な役割を担う高等学校を位置付ける。

学 科	中心的な役割を担う高等学校
農業科	佐賀農業高等学校
工業科	佐賀工業高等学校
商業科	佐賀商業高等学校
家庭科	牛津高等学校

- (2) 生徒の実態に応じた教育機会の更なる拡大

不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者に対する教育については、モデル校である太良高等学校の検証結果等も踏まえて、同様の取組を巖木高等学校へ展開する。

なお、グローバル化への対応や高度技能者の育成に係る専攻科等についての検討等については、引き続き検討を行い、新実施計画（第2次）で取り組むこととする。

県立高等学校の通学区域

全日制課程の普通科について設定している4学区（東部・中部・北部・西部）を、学校の配置状況、生徒の通学状況、地域間のバランスを総合的に勘案して、平成28年度から、当面、東部学区と中部学区を合わせた学区（新東部学区）と北部学区と西部学区を合わせた学区（新西部学区）の2学区とする。

なお、さらに通学区域を拡大し、全県一区とすることについては、2学区とした後の通学状況等を検証しながら、引き続き検討していくこととする。

各高等学校の志願動向と募集定員

各高等学校の募集定員については、基本的に各学区・地区内の中学校卒業見込者数の動向に応じて決定するが、生徒の志願動向を重視し、中学校卒業見込者数の減少による各学区・地区の募集定員の減がない場合でも、2年連続して一般選抜試験の学校別の志願倍率が1倍に満たなかった高等学校については、募集定員の減を検討する。

県立高校再編整備計画（杵島地区）

武雄・杵島地区の生徒減少に合わせ、平成 30 年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	白石高等学校、杵島商業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1 学年 200 人（5 学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、武雄・杵島地区のうち杵島地区については、生徒数の減により、平成 32 年度にさらに募集定員を 40 人（1 学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

杵島地区新高校設置準備委員会検討スケジュール（案）

回	時期	主な検討項目
第 1 回	H27 年 5 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員委嘱 ・ 新実施計画の概要 ・ 杵島地区の再編計画 ・ 新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール ・ めざす学校像（現状を踏まえた意見交換） など
第 2 回	H27 年 7 月下旬 ～ 8 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす学校像 ・ 学科の構成（現状分析、今後の方向性についての意見交換） など
第 3 回	H27 年 10 月上旬 ～ 10 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科の構成（新高校の学科構成 等） ・ 校舎制（他県の状況を踏まえた意見交換） など
第 4 回	H27 年 12 月下旬 H28 年 ～ 1 月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎制 ・ 新高校の教育内容（教育課程、校時 等） など
第 5 回	H28 年 3 月中旬 ～ 3 月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務分掌 ・ 各種委員会 など
第 6 回 ～	H28 年 4 月～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容に係る検討 （平成 27 年度からの継続検討） ・ 新高校の校名、校章、校歌、制服制定に係る検討 ・ 施設・設備に係る検討 など
備考	H29 年 2 月	・ 2 月議会（条例改正案）
	H29 年 3 月	・ 新高校再編計画
	H29 年 4 月～	・ 広報活動、施設・設備の整備
	H30 年 4 月	開校

1 現在の状況

学校の概要 (H27学校要覧による)



白石高等学校

○校訓 「清明 自律 創造」
 清明...清らかでやさしく、明るく思いやりのある豊かな心を培い、
 真実の人生を尊び、敬愛と礼節をもって友情を深める。
 自律...真理と正義を愛し、正しい道を守り抜く自己を確立し、す
 ずんで責任を遂行する強意志と実行力を持つ。
 創造...豊かな個性をのびし、つよくたくましい心身を育み、文化
 の発展と人々の幸福に貢献する知性を身につける。

○教育目標

校訓「清明・自律・創造」のもとに、高い志と進んで責任を遂行
 する強い意志を持ち、社会に貢献できる、知・徳・体の調和のとれ
 た心身ともに健全な人材を育成する。

- ・ 伸ばす教育・伸びる教育の推進
- ・ 進路ガイダンスの充実
- ・ 質の高い授業と行事・部活動のバランス
- ・ 品格のある校風の醸成
- ・ 信頼される学校づくり

○学科・定員 普通科160名

○特色

- ・ 多様な進路希望の実現に向けた指導
 (習熟度別指導、個別指導)
- ・ 部活動の全国出場(駅伝、剣道など)

○課題

- ・ 国立大学や有名私立大学の現役合格者を増加させること。
- ・ 質の高い文武両道を図ること。



杵島商業高等学校

○校訓 「信 愛 熱」
 信...信用の信であり偽りのない情念を持ってあらゆることに真正
 面から取り組み常に相手の立場を尊重し理性を持って物事
 を判断し生涯を通じて誠実に生き行動すること
 愛...欲望に左右される事なくすべてのことに心を配り優しさを持
 って自ら考え行動すること
 熱...進取の気性に満ちたよりよき創造者として知性を磨き教養を
 豊かにするため熱い心で物事に打ち込むこと

○教育目標

「生き抜く力」を育む指導をとおして、生徒一人ひとりの優れた
 資質を伸ばし、経済社会の発展に寄与する優れた人材の育成を
 目指す。

- ・ 夢の実現に向けた実践力を育成する
- ・ ビジネス教育を推進し、グローバルな視点を持って地域社会
 の発展に寄与しうる生徒を育成する
- ・ 生徒の人格を尊重し、基本的な生活習慣を身に付けさせ、思
 いやりの心を持つ生徒を育成する
- ・ 授業と部活動に情熱を傾け、確かな学力と逞しい心と体を育
 成する

○学科・定員 商業科80名 情報処理科40名

○特色

- ・ ビジネス教育を主眼とした実践的な商業教育
- ・ ネットショッピングモール「がばいよか! きしま学美舎」の運営
- ・ ボランティア活動「ひまわりプロジェクト」の実践

○課題

- ・ キャリア教育の充実
- ・ 卒業後に生かせるような教育内容の推進

進路状況 (「卒業後の状況調査H27.3卒業生(速報値)」による。数値は人数。)



白石高等学校

四年制大学79(うち国立20)
 短期大学9
 専修学校等61(うち医療看護系25)
 就職5 その他5 卒業生数159

<主な進学先>

(国公立)
 山口大学3、福岡教育大学1、佐賀大学4、長崎大学4、
 熊本大学1、大分大学1、長崎県立大学6
 (私立)
 慶応義塾大学1、同志社大学1、順天堂大学1、大東文化大学1、
 福岡大学5、西南学院大学2、中村学園大学2、久留米大学4、
 西九州大学8
 (短期大学)
 上智大短大部1、西九州大短大部2、佐賀女子短大1、
 中村学園大短大部2
 (専修学校等)
 九州医療センター附属福岡看護助産学校、嬉野医療センター附属
 看護学校、佐賀県立総合看護学院、九州国際情報ビジネス専
 門学校、佐賀コンピュータ専門学校、大川看護福祉専門学校、武
 雄看護リハビリテーション学校、緑生館、長崎リハビリテーション学院、佐
 賀歯科衛生専門学校、佐賀県立産業技術学院、佐賀県農業
 大学校

<主な就職先>

九電工、海上自衛隊、陸上自衛隊



杵島商業高等学校

四年制大学4(うち国立0)
 短期大学5
 専修学校等37(うち医療看護系15)
 就職70 その他1 卒業生数117

<主な進学先>

(私立)福岡大学1、九州産業大学1、宮崎産業経営大
 学1、拓殖大学1
 (短期大学)西九州短大2、佐賀女子短大1、九州龍谷
 短大2
 (専修学校等)九州国際ビジネス専門学校、佐賀コン
 ピュータ専門学校、武雄看護リハビリテーション学校、
 緑生館、佐賀歯科衛生専門学校

<主な就職先>

佐賀銀行、佐賀共栄銀行、佐賀西信用組合、佐賀県
 農業協同組合、九州電力、江北町役場、武雄中央会
 計事務所、ヤクルト、JAビバレッジ、九州グリコ、佐賀
 酒類販売、佐賀県畜産公社、九州三菱自動車販売、
 ダイハツ工業、佐賀鉄工所、SUMCO、佐賀シル工業、
 肥前通運、ミズ、祐徳薬品、人形館ふじや、イワフチ、
 祐徳稲荷神社、古賀病院、高島病院、にしけい、山崎
 製パン、ヤマト運輸

部 活 動 (「H26学校要覧」による。数値は部員数。)



白石高等学校

- <体育部> 野球(37)
バレーボール男子(13)
バレーボール女子(22)
テニス男子(26)
テニス女子(23)
バスケットボール男子(18)
バスケットボール女子(23)
弓道(48)
サッカー(40)
剣道(35)
陸上競技(37)
- <文化部> 放送(6)
美術(12)
新聞(0)
音楽(12)
茶道(7)
JRC(3)
図書(1)
家政(19)
書道(7)
科学(2)
- 
- 
- 



杵島商業高等学校

- <体育部> 野球(26)
バレーボール女子(15)
ソフトテニス男子(12)
ソフトテニス女子(9)
バスケットボール男子(24)
バスケットボール女子(27)
柔道(5)
卓球(13)
ボクシング(4)
陸上競技(22)
- <文化部> 放送(4)
美術(9)
新聞(16)
プラスバンド(23)
茶道・華道(2)
ビジネススキル(4)
情報処理(33)
英会話(8)
- 
- 
- 

主 な 行 事



白石高等学校

- 【 4月】入学式
県下一斉学力診断テスト(1年)
1年生宿泊研修
開校記念遠足
- 【 6月】県下一斉模試(2・3年)
- 【夏季休業中】県下一斉模試(全学年)
- 【 9月】白高祭(文化祭、体育祭)
芸術鑑賞会
- 【10月】高大ジョイントセミナー(2年)
- 【11月】県下一斉模試(3年)
先輩と語る会(1年)
- 【 1月】県下一斉模試(1・2年)
大学入試センター試験
修学旅行(新潟)
- 【 3月】卒業式



杵島商業高等学校

- 【 4月】入学式
県下一斉学力診断テスト(1年)
1年生宿泊研修
新入生歓迎登山
- 【 6月】県下一斉就職学力テスト(2・3年)
基礎力診断テスト(1年)
全商珠算・電卓実務検定
全商簿記実務検定
- 【 7月】県高校生徒商業研究発表大会
- 【 8月】聖陵祭体育祭
- 【 9月】就職試験開始
県商業技能競技会
全商情報処理検定
- 【11月】全商珠算・電卓実務検定
芸術鑑賞会
聖陵祭文化祭
- 【12月】県商簿記検定
- 【 1月】全商情報処理検定
全商簿記実務検定
修学旅行(北海道)
- 【 3月】卒業式

2 新高校のめざす学校像

- ・ 教育目標について
- ・ 学校の特色づくりについて
- ・ 育成したい人材について
- ・ 地域との連携について
- ・ その他